



第74期 事業報告書

2017年4月1日 ▶ 2018年3月31日



環境計測

医療関連計測

東亜ディーケーケー 株式会社

証券コード：6848

株主の皆様へ



代表取締役社長
高橋 俊夫

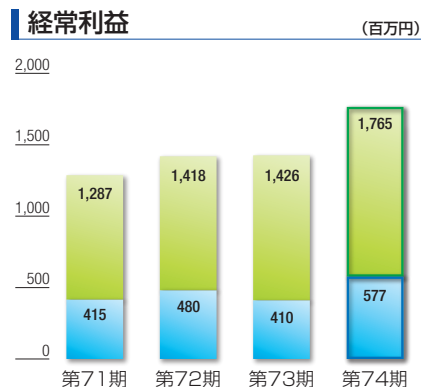
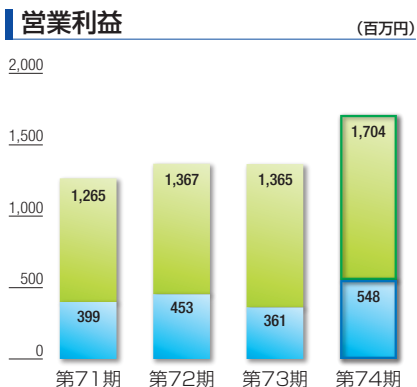
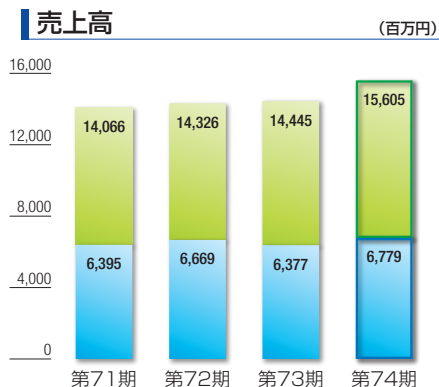
第74期事業報告書をお届けするにあたり、株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方、世界経済においては、欧米の政策動向や中東及びアジア地域の地政学的なリスク要因により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、国内では計測機器市場の回復傾向が続き、医療機器市場は拡大傾向にあります。海外におきましても、中国を中心としたアジア地区での環境規制強化に伴い旺盛な需要が続いております。

連結財務ハイライト

■ 第2四半期 ■ 通期



このような状況のもと、当社グループは中期経営計画に沿って重点施策を着実に推進しました。国内においては、定期的なお客様訪問の促進等で国内営業の再強化を図るとともに、医療関連機器の増産体制確立に注力しました。海外においては、販売網の拡充や巡回技術サービス等による積極的な営業活動を展開しました。また、生産体制においても、中国の需要増加に合わせ、工程の見直しによる生産効率化と生産能力の増強に取り組みました。

利益面におきましては、売上高の増加、コスト削減、生産性向上など体質強化に努めることにより、経営安定の一環として推進している単月黒字化を連続して103か月（8年7か月）達成しました。

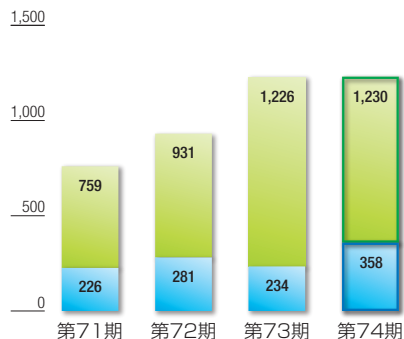
以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高は15,605百万円（前期比8.0%増）、営業利益は1,704百万円（前期比24.9%増）、経常利益は1,765百万円（前期比23.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,230百万円（前期比0.3%増）となり、いずれも過去最高を記録しました。

ここに永年に亘る株主の皆様のご温かく心強いご支援と、お客様、お取引先等全てのステークホルダーの皆様のご支援に改めて厚く感謝申し上げる次第であります。

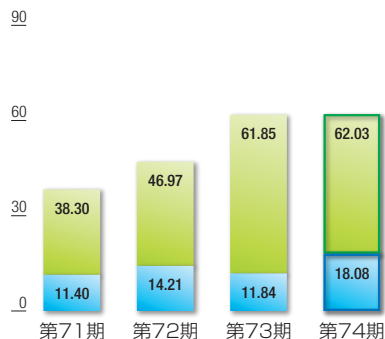
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年6月

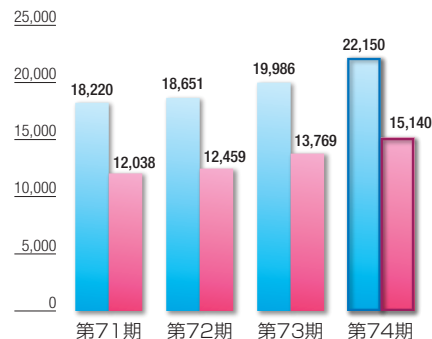
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



1株当たり当期純利益 (円)



連結総資産 / 連結純資産 (百万円)



分野別売上高の概況

計測機器事業

売上高 **15,341**百万円 (前期比 7.8%増)

● 環境・プロセス分析機器

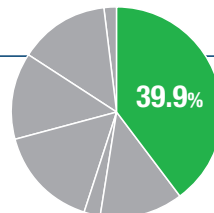
売上高 **6,225**百万円 (前期比 12.5%増)



法規制に対応した環境用水質及び大気の監視、安心・安全でおいしい水道水の供給、そのほか水処理を必要とするあらゆる業界の生産、品質管理プロセスに導入されています。

この分野は、基本プロセス計測器、環境用大気測定装置、煙道排ガス用分析計、ボイラー水用分析装置、上下水道用分析計、環境用水質分析計、石油用分析計等であります。

製造業の設備投資回復に伴う基本プロセス機器の需要増加や環境用水質分析計の更新需要等により国内販売が増加したことに加えて、中国及び韓国市場向け環境用水質分析計を中心に海外輸出が順調に推移したことから、売上高は前期比12.5%増となりました。



PM2.5測定装置



水道用水質自動測定装置

● 科学分析機器

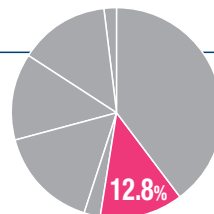
売上高 **1,996**百万円 (前期比 10.8%増)



大学や試験研究機関、製造現場、化学、製薬、食品、農業等あらゆる分野の水質測定に使用されています。

この分野は、ラボ用分析機器、ポータブル分析計、医療関連機器等であります。

ラボ用分析機器・ポータブル分析計は販促効果もあり順調に売上を伸ばしました。また、2017年10月には医療関連機器の新生産棟が稼働し、主要製品である粉末型透析用剤溶解装置を増産したことにより、売上高は前期比10.8%増となりました。



卓上型水質計



人工臓器用粉末型透析用剤溶解装置

● 産業用ガス検知警報器

売上高 **383**百万円 (前期比 8.9%増)



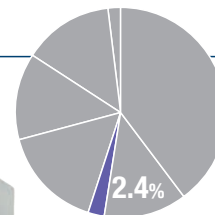
ガス貯蔵場所、製造ラインの可燃性ガスや有毒ガスの漏洩を連続監視し、安全な作業環境を提供しています。

この分野は、バイオニクス機器株式会社が製造・販売する産業用ガス検知警報器であります。

国内での販売が好調に推移し、売上高は前期比8.9%増となりました。



毒性ガス検知警報器



● 電極・標準液

売上高 **2,201**百万円 (前期比 2.4%増)

● 保守・修理

売上高 **2,075**百万円 (前期比 0.2%増)

● 部品・その他

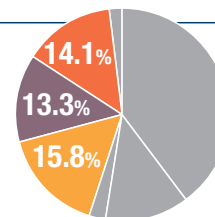
売上高 **2,459**百万円 (前期比 5.9%増)

これらの分野は、環境・プロセス分析機器、科学分析機器の分野における全製品群の補用品類、現地調整・定期点検及び修理、補用パーツ等に該当するものであります。

お客様の設備・保守予算の増額に伴い、電極・標準液、保守・修理、部品・その他の売上高はいずれも増加しました。



電極

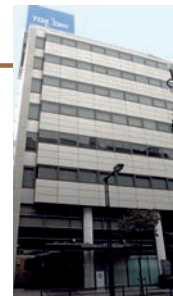
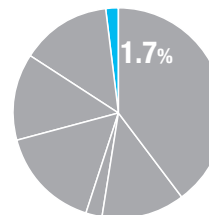


不動産賃貸事業

売上高 **263**百万円 (前期比 23.7%増)

東京都新宿区の本社に隣接の賃貸ビル1棟ほかを所有し、不動産賃貸事業を行っております。

前期に狭山貸店舗の契約満了に伴う解約（当該不動産は売却済み）がありましたが、新たに購入した本社隣接土地を駐車場運営会社に賃貸し始めたことから、当事業の売上高は263百万円（前期比23.7%増）となりました。



本社隣接の賃貸ビル

東亜ディーケーケーグループの ビジネス・フィールド

「水・大気・ガス・医療」の計測技術を柱に、地球環境の保全と、豊かで人にやさしい 社会環境の実現に貢献しています。

フィールド

川や湖での水質測定
に使用されています。

ポータブル電気
伝導率・pH計

研究所・実験室

大学や試験研究
機関、生産ラインの品質管理などあらゆる分野
の化学分析に使用されています。

卓上型水質計

発電所

ボイラーの
水質管理を
行っています。

ボイラーサンプリング装置

水

家庭

安全でおいしい水道
水の供給に貢献して
います。

水道水水質
自動測定装置

医療

医療施設

透析施設で
透析治療を
支える装置
として活躍
しています。



生物発光式
エンドキシン計



A 剤溶解装置

ガス

化学プラント

毒性ガスの漏洩をいち早く検
知し警報を発することで安全
な作業環境の維持に貢献して
います。



産業用ガス検知
警報器

大気

大気汚染常時監視

PM2.5を始め二酸化
硫黄、窒素酸化物など身の周りの大気の汚
染状態を監視します。



PM2.5 測定装置

ゴミ焼却施設・工場

有害ガスの排出を発生源
で監視します。



CO/O₂ ガス分析計

河川・海

工場や下水道の
排水監視に活躍
しています。



全窒素・全りん／COD
自動測定装置

TOPICS

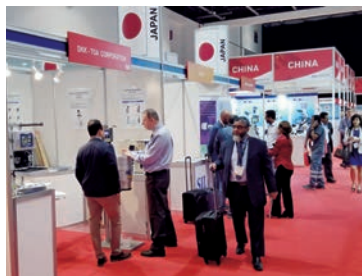
事業拡大と経営安定化に向けて

海外事業5期連続増収

成長戦略の一つとして、海外事業の拡大を図っています。2017年度は、新規代理店との契約や代理店への巡回技術サービス等の積極的な販売活動を展開したことにより、5期連続増収となりました。また、新規に契約した代理店の協力も得て、海外の大規模展示会へ過去最多の出展となりました。

その他にも、海外からの技術研修生を受け入れることで、海外のお客様にも当社の技術を知っていただき、人脈の輪を広げています。

これからも日本での豊富な実績を活かして、世界各国の販売代理店網を拡大し、現地のニーズにあった製品を提供し売上拡大を図ってまいります。

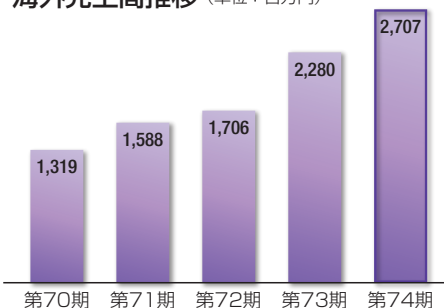


2018年3月にUAE(アラブ首長国連邦)で初出展
(Arab Lab 2018)



JCCP国際石油・ガス協力機関からの研修生受入

海外売上高推移 (単位: 百万円)



連結単月黒字化103連勝

コスト削減、生産性向上など利益体質強化の取り組みを進める中、経営安定の一環として推進している連結単月黒字化を2018年3月で103か月連続(8年7か月)達成しました。

「水・大気・ガス・医療」の4本柱で、強固な国内事業基盤を築き、海外での事業展開を進めることで収益バランスを取り、将来にわたり安定した収益向上を目指してまいります。

CSRの取り組み

2017年度東北地域カーボン・オフセットグランプリで支援賞を受賞

2018年1月、当社のカーボン・オフセット*が、東北地域を支援する地球温暖化防止の取り組みの優良事例として表彰されました。

また、当社では「山形県民CO₂削減価値事業」において創出されたCO₂削減価値について、昨年に引き続き購入し、2月に山形県庁でその契約締結式を執り行いました。

これからもこのような取り組みを積極的に支援するとともに、環境計測機器メーカーとして自らのCO₂排出量削減に向けた活動を強化し、環境負荷の低減に努めてまいります。

※2017年3月、同事業の第1弾に参加し、山形県内の家庭等に設置された太陽光発電設備により創出されたクレジットを活用して、本社の消費電力に充当しました。同クレジットの代金は山形県の環境保全事業に活用されます。



女性活躍推進法に基づく認定マーク「えるぼし」の最高位を取得

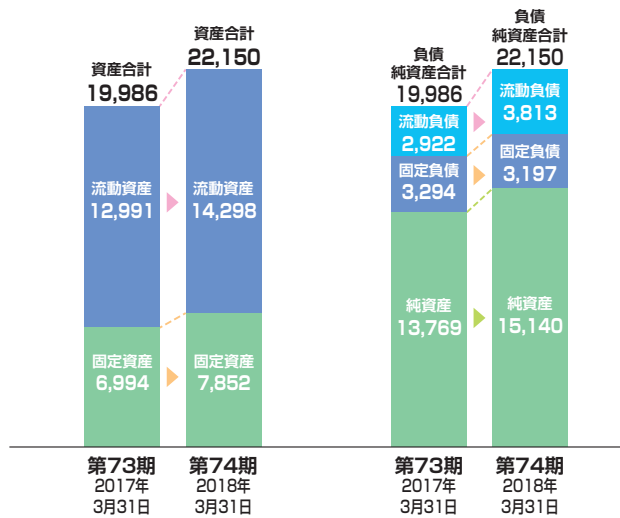
2018年3月26日付で厚生労働大臣より「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」（女性活躍推進法）に基づく優良企業として認定を受け、認定マーク「えるぼし」の最高位（3段階目）を取得しました。

当社は、中期経営計画において「人財開発」を成長戦略の一つとして位置付けており、これからも多様な人財が個の能力を高め、長期的に活躍できる環境づくりに取り組んでまいります。

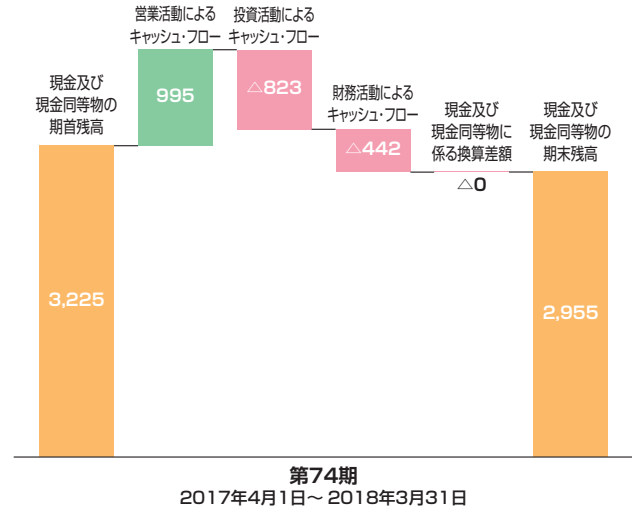


連結財務データ

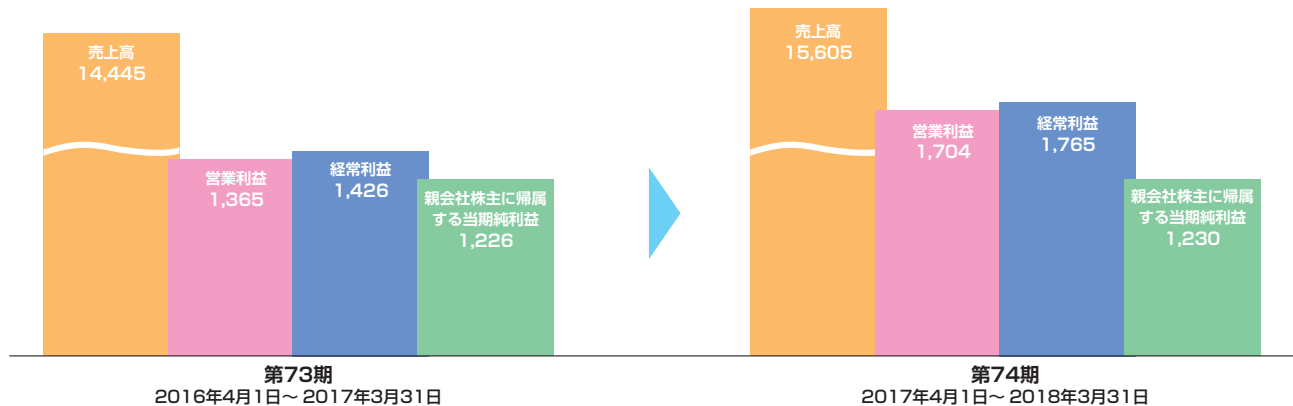
連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第73期	第74期
	2017年3月31日現在	2018年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	12,991	14,298
固定資産	6,994	7,852
有形固定資産	4,165	4,771
無形固定資産	271	182
投資その他の資産	2,558	2,898
資 産 合 計	19,986	22,150
(負債の部)		
流動負債	2,922	3,813
固定負債	3,294	3,197
負 債 合 計	6,216	7,010
(純資産の部)		
株主資本	12,992	13,964
資本金	1,842	1,842
資本剰余金	1,297	1,297
利益剰余金	9,863	10,836
自己株式	△11	△11
その他の包括利益累計額	777	1,175
その他有価証券評価差額金	965	1,322
退職給付に係る調整累計額	△187	△146
純 資 産 合 計	13,769	15,140
負 債 純 資 産 合 計	19,986	22,150

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第73期	第74期
	2016年4月1日から 2017年3月31日まで	2017年4月1日から 2018年3月31日まで
売 上 高	14,445	15,605
売 上 原 価	8,667	9,279
売 上 総 利 益	5,778	6,325
販売費及び一般管理費	4,413	4,620
営 業 利 益	1,365	1,704
営 業 外 収 益	76	68
営 業 外 費 用	15	8
経 常 利 益	1,426	1,765
特 別 利 益	338	1
特 別 損 失	3	7
税金等調整前当期純利益	1,761	1,759
法人税、住民税及び事業税	507	533
法 人 税 等 調 整 額	27	△3
当 期 純 利 益	1,226	1,230
親会社株主に帰属する当期純利益	1,226	1,230

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第73期	第74期
	2016年4月1日から 2017年3月31日まで	2017年4月1日から 2018年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,116	995
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,205	△823
財務活動によるキャッシュ・フロー	△244	△442
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額	△333	△270
現金及び現金同等物の期首残高	3,558	3,225
現金及び現金同等物の期末残高	3,225	2,955

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

配当政策

当社は、株主の皆様には業績に応じた適正かつ安定的な配当を継続することを基本としております。

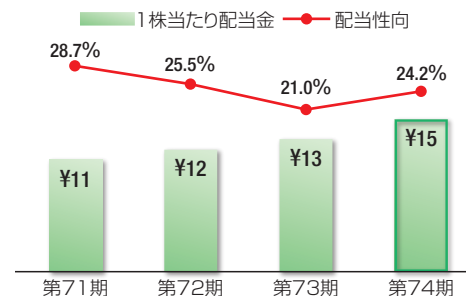
この方針に基づき、株主の皆様の日頃のご支援にお応えすべく、2018年3月期の期末配当につきましては、当社の医療関連機器の新生産棟が竣工したことを記念して、1株当たり普通配当13円に、記念配当2円を加え、合計15円とさせていただきます。

なお、配当金は、2018年6月27日以降お受け取りいただけます。



新生産棟

1株当たり配当金／連結配当性向



株主優待制度のご案内

毎年9月末現在の株主名簿に記載された100株以上をご所有の株主様に、社会貢献型寄付金付クオカードを贈呈しております。クオカードをご利用いただくことで、当社から使用額の一部を（公社）国土緑化推進機構が運営する「緑の募金」へ寄付いたします。（株主様には全額お使いいただけます。）

◎株主ご優待の基準及び内容

所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	寄付金付クオカード500円分
500株以上1,000株未満	寄付金付クオカード1,000円分
1,000株以上	寄付金付クオカード2,000円分

◎贈呈の時期及び方法

年1回、毎年12月に第2四半期（中間）事業報告書に同封してご送付いたします。



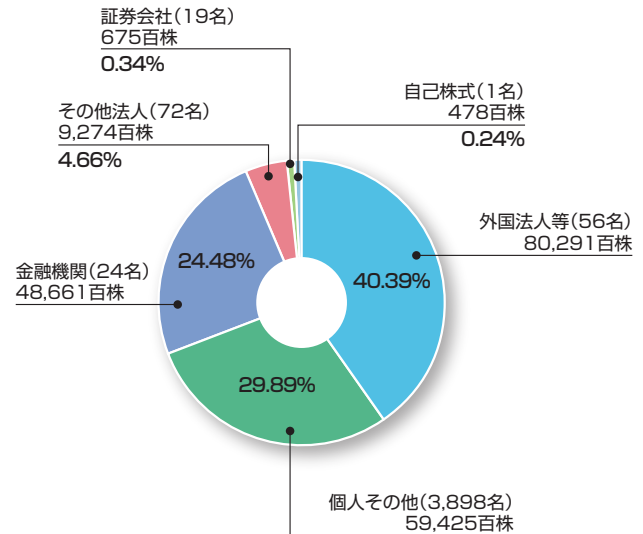
株式の状況 (2018年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 50,000,000株
- 発行済株式の総数 19,880,620株
- 株主数 4,070名
- 大株主(上位10名)

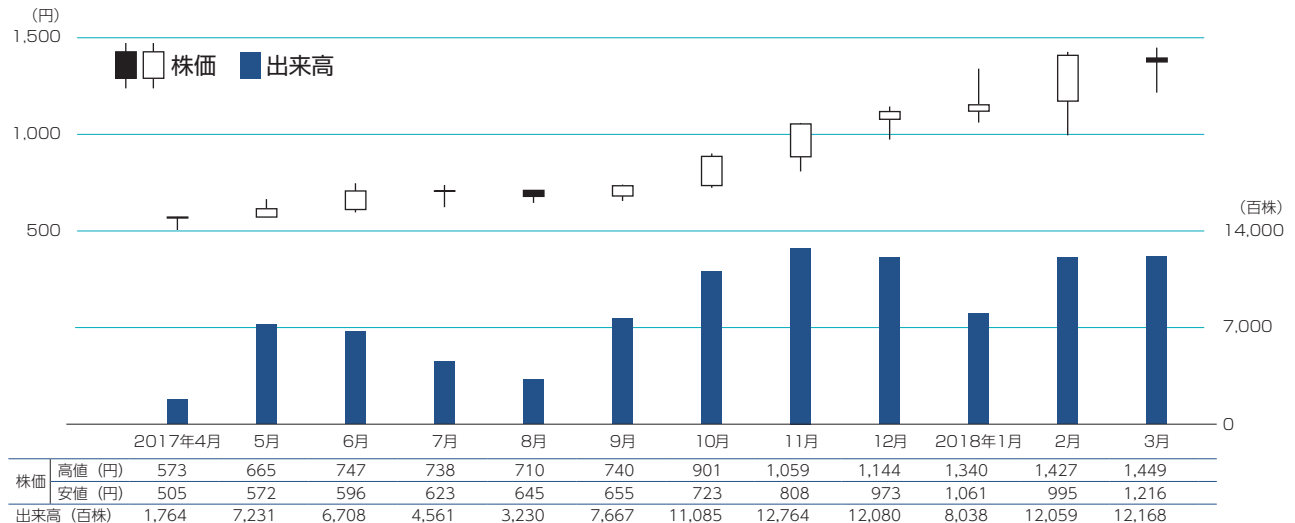
株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
ハック・カンパニー	66,590	33.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,795	5.44
山下直	10,611	5.35
明治安田生命保険相互会社	10,500	5.29
株式会社みずほ銀行	4,625	2.33
損害保険ジャパン/日本興亜株式会社	4,460	2.25
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,192	2.11
佐々木輝男	3,976	2.00
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	3,509	1.77
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	3,179	1.60

- (注) 1. 持株数は、百株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は、自己株式(47,866株)を控除して計算しております。
 3. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、2018年4月1日をもって株式会社三菱UFJ銀行に商号変更しております。
 4. 佐々木輝男氏は、2018年2月19日に逝去されましたが、名義書換未了のため、株主名簿上の名義で記載しております。

- 所有者別分布状況(発行済株式の総数に対する割合)



- 株価及び出来高の推移



会社の概況

- 商号 東亜ディーケーケー株式会社
- 英文商号 DKK-TOA CORPORATION
- 本社 東京都新宿区高田馬場一丁目29番10号
- 創立 1944年9月19日
- 資本金 18億4,248万1千円
- 従業員数 (2018年3月31日現在)
339名 (連結608名)



● 取締役・監査役・執行役員 (2018年6月26日現在)

代表取締役社長	高橋俊夫
取締役会長	山守康夫
取締役副社長	玉井亨
常務取締役	赤沢真一
取締役	山下和人
取締役	松野侶夫
取締役	伊東哲
取締役	中島信寿
取締役	マニッシュ・バトナガー
取締役	丸貞克
取締役(社外)	田中健一郎
取締役(社外)	大野博
常勤監査役	柳下耕一
常勤監査役(社外)	吉田壽道
監査役(社外)	富山恭道
監査役(社外)	米澤廣行
執行役員	岡林充洋
執行役員	茂木隆
執行役員	嘉津誠治
執行役員	田野倉和夫
執行役員	岸川則夫
執行役員	東海林正男
執行役員	魚谷次泰介
執行役員	谷山進

会社案内が新しくなりました。

会社案内冊子と動画を改訂しました。当社の取り組みについてご理解を深めていただけます。会社案内冊子(PDF)と動画は当社ウェブサイトの「会社概要」及び「IR情報」の「個人投資家の皆様へ」に掲載しております。



ネットワーク

● 拠点一覧



- 本社
- 支社・営業所
- 事務所
- 事業所
- サービスセンター(SC)
- ▲ 関連サービス会社

- 本社 ■
- 大阪支社 ●●
- 札幌営業所 ●
- 仙台営業所 ●●
- 千葉営業所 ●●
- 神奈川営業所 ●●
- 静岡営業所 ●●
- 名古屋営業所 ●●
- 岡山営業所 ●●
- 広島営業所 ●●
- 山口営業所 ●●
- 四国営業所 ●●
- 九州営業所 ●●
- 長崎事務所 ○
- 狭山テクニカルセンター・
開発研究センター・ ■
- 医療関連機器生産棟
- 東京エンジニアリングセンター ■

本社
 狭山テクニカルセンター
 開発研究センター・医療関連機器生産棟
 東京エンジニアリングセンター
 大 阪 支 社
 札幌営業所
 仙台営業所
 千葉営業所
 神奈川営業所
 静岡営業所
 名古屋営業所
 岡山営業所
 広島営業所
 山口営業所
 四国営業所
 九州営業所
 長崎事務所
 ソウル連絡事務所

〒169-8648	東京都新宿区高田馬場1-29-10	TEL 03-3202-0211
〒350-1388	埼玉県狭山市北入曽613	TEL 04-2957-6151
〒207-0022	東京都東大和市桜が丘2-214	TEL 042-563-5551
〒530-0047	大阪市北区西天満3-6-28オクタス西天満ビル	TEL 06-6312-5100
〒060-0806	札幌市北区北6条西6-2福徳ビル	TEL 011-726-9859
〒980-0022	仙台市青葉区五橋2-1-4仙台五橋ビル	TEL 022-723-5734
〒290-0038	千葉県市原市五井西2-2-11	TEL 0436-23-7531
〒220-0021	横浜市西区桜木町5-26-3桜木町日本堂ビル	TEL 045-222-1361
〒422-8036	静岡県駿河区敷地2-21-1コーポ汐入	TEL 054-236-0106
〒460-0022	名古屋市中区金山3-8-18プレアール名古屋金山	TEL 052-324-6335
〒710-0824	岡山県倉敷市白楽町593-1亀山総合ビル	TEL 086-423-5181
〒733-0002	広島市西区楠木町1-9-27第3コーポ大場	TEL 082-297-7370
〒745-0073	山口県周南市代々木通1-30山陽マテリアルビル	TEL 0834-27-2707
〒760-0055	香川県高松市観光通2-2-15第二ダイヤビル	TEL 087-831-3450
〒802-0001	北九州市小倉北区浅野2-1-21 駅西幹線ビル	TEL 093-551-2727
〒850-0066	長崎市大浜町846-20	TEL 095-865-0921
Room 1210, Seoul Forest IT Castle, 130 Gwangnaru-ro, Seongdong-gu, Seoul, Korea	柳林TECH株式会社社内	TEL 010-82-2-6310-6380

● グループ会社

山形東亜DKK株式会社
 岩手東亜DKK株式会社
 アリス東亜DKK株式会社
 東亜DKKアナリティカ株式会社
 バイオニクス機器株式会社
 東亜DKKサービス株式会社

〒996-0053	山形県新庄市大字福田字福田山711-109	TEL 0233-23-5011
〒028-0534	岩手県遠野市綾織町みさ崎9地割9-3	TEL 0198-62-5800
〒350-1388	埼玉県狭山市北入曽613	TEL 04-2957-7141
〒207-0022	東京都東大和市桜が丘2-214	TEL 042-567-2727
〒207-0004	東京都東大和市清水6-1254-2	TEL 042-565-1200
〒207-0022	東京都東大和市桜が丘2-214	TEL 042-563-5643

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金 受領株主確定日	毎年3月31日
基準日	毎年3月31日（その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。）
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部（証券コード 6848）
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店 ブラネットブース(株式会社みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店(*) (*)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金の お支払	みずほ信託銀行株式会社(*)及び株式会社みずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券株式会社では取次のみとなります) (*)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載URL (<http://www.toadkk.co.jp/ir/notification.html>)

The screenshot shows the Toadkk Investor Relations website. The main navigation bar includes Home, News/Press, Products, Company Info, IR Information, Investor Relations, and Contact Us. The IR Information section is highlighted with a blue callout box labeled 'IR情報'. Below it, another callout box labeled '個人投資家の皆様へ' points to a section titled '個人投資家の皆様へ'. The main content area features a 'News/Press' section with a list of recent news items, including financial results and shareholder information.

● IR情報のご案内

当社では、IR専用サイトを設けて、決算情報などのIR関連情報をタイムリーに提供しております。また、個人投資家の皆様に当社に対するご理解をより深めていただけますよう、「IR情報」ウェブサイト内に「個人投資家の皆様へ」というサイトを新設しましたのでご利用ください。

当社ウェブサイト URL <http://www.toadkk.co.jp/>

東亜ディーケーケー 株式会社

経営戦略部 経営企画課 TEL 03-3202-0242

